

本田病害虫防除について

～ 良質米生産を目指しましょう ～

無人ヘリコプターによる広域防除が実施予定です。散布区域内のカメムシ類の密度低下に効果的ですが、広域防除だけに頼ることなく天候・品種・地域性の諸条件により臨機防除が必要です。

今年は平年より遅く、6月14日に梅雨入りしたと気象庁より発表されました。

昨年は、6月下旬から低温寡照の日が続き、イモチ病・紋枯れ病や稲こうじ病の発生が多く確認されました、特に昨年発生した圃場では注意して適期に防除しましょう。

＜カメムシ防除では＞

耕種的防除（雑草管理）＋ 薬剤散布を組合せて対応することが重要です。



葉いもち病



穂いもち病



紋枯れ病



稲こうじ病

いもち病と紋枯れ病の同時防除

オリブライト1キロ粒剤 出穂10日前までに 1kg/10a散布（収穫45日前まで）
フジワンモンカット粒剤 出穂30～10日前に 3～4kg/10a散布（収穫30日前まで）

（いもち病のみ防除）

フジワン粒剤 出穂30～10日前に 3～5kg/10a散布（収穫30日前まで）

※ イモチ・紋枯れ・殺虫の同時防除

カメムシ類防除のお奨め粒剤

キラップ粒剤(3kg) 出穂前10日 3kg/10a散布（収穫14日前まで）

スタークル粒剤(3kg) 出穂期～穂揃期(成虫対象) } 3kg/10a散布(収穫7日前まで)
乳熟期～糊熟期(幼虫対象)

※散布時は浅水(2～3cm)で散布

稲こうじ病の防除は予防から

モンガリット粒剤 3～4kg/10a 出穂前20～14日
ラテラ粉剤DL 3～4kg/10a 出穂前12～8日

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

いもち病・紋枯れ病・稲こうじ病・カメムシ類の本田防除

